

国立音楽大学
2022 年度ディプロマ・コース

募集要項
(2 次募集)

目 次

ディプロマ・コースについて	1
出願方法並びに合格発表について	2
各コースについて	
声楽ソリスト・コース	4
ピアノ・ソロ／アンサンブル・コース	5
弦楽器コース	6
a) ソリスト・コース	
b) オーケストラプレイヤー・コース	
c) コンサートマスター プリンシパル・コース	
管打楽器ソリスト・コース	7
ジャズ インストゥルメンタル・コース	8
別記「試験課題曲一覧」	
弦楽器コース	9
管打楽器ソリスト・コース	11
ジャズ インストゥルメンタル・コース	13
動画の撮影・提出方法について	
動画の撮影、提出方法について	14
YouTube への動画アップロード方法のご案内	16

国立音楽大学ディプロマ・コース試験実施にあたって

2022 年度ディプロマ・コース試験実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した対応を行います。

ディプロマ・コースについて

国立音楽大学では、音楽大学卒業程度のレベルの方で、さらに専攻実技の研鑽を積みたい人のために、「ディプロマ・コース」を設置しています。このコースには以下のコースがあり、本学に設置されているほぼ全専攻楽器が募集対象となります。

【コース名】

- ・ 声楽ソリスト・コース
- ・ ピアノ・ソロ／アンサンブル・コース
- ・ 弦楽器コース
 - a) ソリスト・コース
 - b) オーケストラプレイヤー・コース
 - c) コンサートマスター プリンシパル・コース

※弦楽器コースは、上記3つのコースから志望できます。

- ・ 管打楽器ソリスト・コース
- ・ ジャズ インストウルメンタル・コース

【コースの特色】

ディプロマ・コースは、本学の教員による実技レッスンを中心とし、高度な専門性を追求することを目的としています。更なる進学・進路先を目指すための準備や、ダブルスクールの場として受講するなど、音楽の学修意欲が強い人たちの志望に応えたコースです。

【コースの定義について】

ディプロマ・コースの実技レッスンは、本学の履修科目とは異なりますので、単位認定されるものではありません。大学での位置づけは「非正規生」となり、学割証や通学証明書等も交付されません。

【コースの受講にあたって】

本コースを修了するためには、通算2年以上在籍の上、担当教員が認めた場合にのみ修了試験を受験し、合格する必要があります。なお、コースの在籍期間は通算5年までとし、在籍登録は1年ごとに所定の手続きが必要となります。担当講師は原則として本学教員です。大学構内での対面レッスンを基本としますが、オンラインレッスンも一部認められる場合があります。

【受講料等（年額）】

1) 受講料 ※受講料には在籍費も含まれています。

(ア) 声楽ソリスト・コース	: 250,000 円
(イ) ピアノ・ソロ／アンサンブル・コース	: 250,000 円
(ウ) 弦楽器ソリスト・コース	: 250,000 円
(エ) 弦楽器オーケストラプレイヤー・コース	: 150,000 円
(オ) 弦楽器コンサートマスタープリンシパル・コース	: 150,000 円
(カ) 管打楽器ソリスト・コース	: 250,000 円
(キ) ジャズ インストゥルメンタル・コース	: 250,000 円

2) 施設使用料年額（初年度）100,000 円（本学学部卒業生の場合は 10,000 円）
次年度以降 20,000 円（本学学部卒業生の場合は 10,000 円）

受講料と施設使用料は、入学手続きとあわせて所定の期限（2022 年 3 月下旬予定）までに 全額を納入してください。一旦納入された納付金は返還いたしません。

出願について

◎各コースの募集内容・試験日・試験内容等は、P. 4 以降をご確認ください。

1) 出願期間 2022 年 1 月 12 日（水）9:00 ～ 1 月 20 日（木）16:30（期間厳守）

期間内に、下記フォームアドレスより出願登録を行ってください。

出願登録に際しては、事前に顔写真データ及び出願料の振込をした証明書のデータ添付（各データ 1.5MB まで）が必要です。パソコンやスマートフォンからの登録が可能です。

【ディプロマ・コース出願フォームアドレス】※

<https://business.form-mailer.jp/fms/8f293db1135422>



※指定期間以外の登録はできません。なお、出願フォームは登録が完了すると再アクセスすることが出来ません。出願後に住所等内容に変更が生じた場合は、必ず国立音楽大学コミュニティ・ミュージック・センター（以降 KCMC と称します）までご連絡ください。（出願後の曲目変更は出来ませんので、ご注意ください。無断で変更した場合は失格となります。）

※顔写真は、正面上半身・脱帽・背景なし・出願登録の時点から 3 か月以内に撮影した受験用にふさわしいものとします。（白黒不可・カラーに限る）提出された写真は、受験票にも使用させていただきます。

※出願を紙媒体（郵送）で希望される場合は事前に KCMC までご相談ください。

2) 受験方式

出願登録に際し、受験方式（対面／動画審査）を選択していただきます。出願フォーム内の「出願の諸注意について」及び「ディプロマ・コース受験にあたっての同意書」を必ず確認の上、登録を行ってください。演奏動画の提出方法は、P. 14 を参照してください。

3) 出願料 10,000 円

※振込受付期間内に出願料をお振込ください。出願フォームの入力に際しては、振込証明書・ATM 利用証明書・振込受付完了画面（インターネットバンキング）のいずれかの画像が必要となりますので、事前にご対応の上、出願手続きを行ってください。

※コース併願の場合は、各コースでの出願料をお支払いください。（弦楽器コース a～c の出願は併願ではありません）

[振込受付期間] 2022 年 1 月 11 日（火）～ 1 月 20 日（木）※期間以外の振込は無効です。

[振込指定口座] ※振込人名は、必ず受験者本人名で手続きください。

銀行名：三井住友銀行

支店名：国立支店

口座番号：当座 1015022

口座名：ガク)クニタチオンガクダイガク

4) 受験票

出願登録内容、出願料の入金等確認後に大学から受験票を郵送いたします。

試験日の 1 週間前までにお手元に届かない場合は、至急 KCMC までご相談ください。

5) 出願に関する問い合わせ先

国立音楽大学コミュニティ・ミュージック・センター（KCMC）演奏芸術センター内

〒190-8520 東京都立川市柏町 5-5-1

TEL 042-535-9535 メールアドレス kcmc@kunitachi.ac.jp

合格発表について

◎合格発表 3 月 15 日（火） 10:00

各コース一律で発表を行います。KCMC（演奏芸術センター前）掲示板に合格者の受験番号を掲示します。全体通知として、合否等についての「結果通知書」を郵送いたします。合否についての問い合わせにはお応えできません。合格者は、合格通知書に同封されている書面に従い、指定期間内に手続き書類を提出してください。

各コースについて

【声楽ソリスト・コース】

教育目標 高度な歌唱技術の習得はもちろんのこと、詩の解釈、ことばへの豊かな感性を磨き、舞台表現者としての能力や技術を養う。

受験資格 音楽大学卒業あるいは同等の実力を有している者

履修内容 専門実技レッスン1回45分、年間20回

募集人数 若干名

試験日 2022年3月3日(木)13:00～

※事前提出の動画審査の場合も、試験は同日に行う

※出願期間・手続等は、募集要項P. 2～3を参照すること

試験科目及び課題曲

●声楽演奏試験

〈課題曲〉

- ・ 歌曲1曲と自由曲1曲を原語で歌う。暗譜で演奏する。
- ・ オペラ、オラトリオ、カンタータ等のアリアを自由曲に選んだ場合は、原語、原調を原則とする。
- ・ 曲間を含めて8分以内。
- ・ 伴奏はピアノ伴奏のみとし、受験者自身が手配する。また、対面の場合は当日受験者と同伴すること。動画審査の場合は、共演が分かるよう配慮して撮影すること。

対面方式

- ・ 事前に試験会場等詳細を郵送またはWeb上にてお知らせするので、試験日当日に試験会場にて受験をする。
- ・ 演奏は中断する場合がある。

動画審査方式

動画は、試験日3日前の2月28日(月)までに動画提出専用フォームへ登録し提出すること。指定された課題はすべて通して演奏し撮影する。

※動画の撮影・提出方法については、募集要項P. 14以降を参照。

※対面方式同様に演奏は中断する場合がある。

【ピアノ・ソロ／アンサンブル・コース】

教育目標 専門的に学び、深く音楽を追求してレパートリーの拡大を目指す。また、アンサンブル奏者を目指す者は、奏者としての経験と知識を増やし、豊かな表現力を身に付ける。

受験資格 音楽大学卒業あるいは同等の実力を有している者

履修内容 専門実技レッスン1回 45分、年間20回

募集人数 若干名

試験日 **2022年2月22日(火)** ※開始時間未定

※事前提出の動画審査の場合も、試験は同日に行う

※出願期間・手続等は、募集要項P. 2～3を参照すること

試験科目及び課題曲

●ピアノ演奏試験

〈課題曲〉

- ・自由に選択した独奏曲（複数曲も可）で15分以上のプログラムを構成し、暗譜で演奏する。繰り返しは自由とする。

対面方式

- ・事前に試験会場等詳細を郵送またはWeb上にてお知らせするので、試験日当日に試験会場にて受験をする。
- ・演奏は中断する場合がある。

動画審査方式

動画は、試験日3日前の**2月19日(土)まで**に動画提出専用フォームへ登録し提出すること。指定された課題はすべて通して演奏し撮影する。

※動画の撮影・提出方法については、募集要項P. 14以降を参照。

※対面方式同様に演奏は中断する場合がある。

【弦楽器コース】

- a) ソリスト・コース
- b) オーケストラプレイヤー・コース
- c) コンサートマスター プリンシパル・コース
 - ※ a)、b)についてはヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハーブ
 - ※ c)についてはヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

教育目標

- a) ソリスト・コース
コンチェルトをはじめとするさまざまなレパートリーの演奏技術、解釈を学び、コンクールに入賞する演奏能力を身に付ける。
- b) オーケストラプレイヤー・コース
個人レッスンによりオーケストラ・スタディを学び、オーケストラのオーディションに合格する演奏能力を身に付ける。
- c) コンサートマスター プリンシパル・コース
オーケストラにおいて指揮者と他奏者の間に立ち、演奏をリードするために必要とされる専門的技術や音楽解釈を習得する。オーケストラの首席奏者としての力を養う。

受験資格 音楽大学卒業あるいは同等の実力を有している者

履修内容 a) 専門実技レッスン1回 45分、年間20回
b)c) オーケストラ・スタディの個人レッスン1回 45分、年間10回／合奏の実習
※b)c)については、レッスン指導教員2名まで希望可

募集人数 若干名

試験日 2022年3月9日(水)18:00～

※事前提出の動画審査の場合も、試験は同日に行う

※出願期間・手続等は、募集要項 P. 2～3 を参照すること

試験科目及び課題曲

●演奏試験

〈課題曲〉

- ・別記「試験課題曲一覧」参照
- ・伴奏はピアノ伴奏のみとし、受験者自身が手配する。また、対面の場合は当日受験者と同伴すること。動画審査の場合は、共演が分かるよう配慮して撮影すること。
- ・楽章の指定のないものは、その曲の全楽章を演奏すること。

対面方式

- ・事前に試験会場等詳細を郵送または Web 上にてお知らせするので、試験日当日に試験会場にて受験をする。
- ・試験当日に演奏楽章を指定することがある。また、演奏を途中で中断することがある。

動画審査方式

動画は、試験日3日前の3月6日日(日)までに動画提出専用フォームへ登録し提出すること。別記「試験課題曲一覧」に指定された課題をすべて通して演奏したものを撮影して提出すること。

※動画の撮影・提出方法については、募集要項 P. 14 以降を参照。

※対面方式同様に演奏は中断する場合がある。

【管打楽器ソリスト・コース】

教育目標 コンチェルトをはじめとするさまざまなジャンルの演奏技術、解釈を学び、それぞれの楽器のソリストに必要なレパートリーを身につけ、オーケストラをはじめとする各種オーディションの合格、国内外のコンクールに入賞するための演奏能力を身に付ける。

受験資格 音楽大学卒業あるいは同等の実力を有している者

履修内容 専門実技レッスン1回45分、年間20回

募集人数 若干名

試験日 2022年3月12日(土) ※開始時間未定

※事前提出の動画審査の場合も、試験は同日に行う

※出願期間・手続等は、募集要項P. 2～3を参照すること

試験科目及び課題曲

●演奏試験

〈課題曲〉

- ・別記「試験課題曲一覧」参照
- ・伴奏はピアノ伴奏のみとし、受験者自身が手配する。また、対面の場合は当日受験者と同伴すること。動画審査の場合は、共演が分かるよう配慮して撮影すること。
- ・楽章の指定のないものは、その曲の全楽章を演奏すること。

対面方式

- ・事前に試験会場等詳細を郵送またはWeb上にてお知らせするので、試験日当日に試験会場にて受験をする。
- ・演奏は中断する場合がある。

動画審査方式

動画は、試験日3日前の3月9日(水)までに動画提出専用フォームへ登録し提出すること。別記「試験課題曲一覧」に指定された課題をすべて通して演奏したものを撮影して提出すること。

※動画の撮影・提出方法については、募集要項P. 14以降を参照。

※対面方式同様に演奏は中断する場合がある。

【ジャズ インストゥルメンタル・コース】

- 教育目標** 高度な演奏技術の習得と共に様々な楽曲や歴史的な演奏を通してより深くジャズを探求する。そして様々な演奏の現場で対応できる実践的なソロやアンサンブルの能力を身に付ける。
- 受験資格** 音楽大学卒業あるいは同等の実力を有している者
- 履修内容** 専門実技レッスン1回 45分、年間20回
- 募集人数** 各楽器若干名

試験日 2022年2月26日(土) 10:00～

※事前提出の動画審査の場合も、試験は同日に行う

※出願期間・手続等は、募集要項 P. 2～3 を参照すること

- 募集楽器** ジャズ・ベース、ジャズ・ドラムス、ジャズ・ギター、
ジャズ・サクソフォーン、ジャズ・トランペット、ジャズ・トロンボーン
※ジャズ・ピアノの募集はありません

試験科目及び課題曲

●演奏試験

〈課題曲〉

- ・別記「試験課題曲一覧」参照

対面方式

- ・事前に試験会場等詳細を郵送またはWeb上にてお知らせするので、試験日当日に試験会場にて受験をする。
- ・演奏は中断する場合がある。

動画審査方式

動画は、試験日3日前の2月23日(水・祝)までに動画提出専用フォームへ登録し提出すること。別記「試験課題曲一覧」に指定された課題をすべて通して演奏したものを撮影して提出すること。

※動画の撮影・提出方法については、募集要項 P. 14 以降を参照。

※対面方式同様に演奏は中断する場合がある。

別記「試験課題曲一覧」

【弦楽器コース】

a) ソリスト・コース

■ ヴァイオリン

A、B群からそれぞれ任意の1曲を選び、暗譜で演奏する。

[A群]

J.S.バッハ:無伴奏ヴァイオリンソナタ第1番 ト短調 BWV1001 より フーガ

J.S.バッハ:無伴奏ヴァイオリンソナタ第3番 ハ長調 BWV1005 より フーガ

J.S.バッハ:無伴奏ヴァイオリンパルティータ第2番 ニ短調 BWV1004 より シャコンヌ

[B群]

ベートーヴェン:ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品 61 より 第1楽章

(ヨアヒム又はクライスラーのカデンツァ)

ブラームス:ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品 77 より 第1楽章(ヨアヒムのカデンツァ)

チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品 35 より 第1楽章

シベリウス:ヴァイオリン協奏曲 ニ短調 作品 47 より 第1楽章

バルトーク:ヴァイオリン協奏曲第2番より 第1楽章

■ ヴィオラ

下記の3曲から任意の1曲を選び、暗譜で演奏する。

(1) ブラームス:ヴィオラ・ソナタ ヘ短調 作品 120-1

(2) ブラームス:ヴィオラ・ソナタ 変ホ長調 作品 120-2

(3) ヒンデミット:ヴィオラ・ソナタ ヘ調 作品 11-4

■ チェロ

A、B群からそれぞれ任意の1曲を選び、暗譜で演奏する。

[A群]

J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲第2番(ニ短調 BWV1008)～第6番(ニ長調 BWV1012)より任意のプレリュード

[B群]

ハイドン:チェロ協奏曲第1番 ハ長調 Hob.VIIb-1 より 第1楽章

ハイドン:チェロ協奏曲第2番 ニ長調 Hob.VIIb-2 作品 101 より 第1楽章

ドヴォルザーク:チェロ協奏曲 ロ短調 作品 104 より 第1楽章

シューマン:チェロ協奏曲 イ短調 作品 129 より 第1楽章

エルガー:チェロ協奏曲 ホ短調 作品 85 より 第1・2楽章

■ コントラバス

下記の3曲から任意の1曲を選び、暗譜で演奏する。

(1) ケーセヴィツキー:コントラバス協奏曲 嬰ヘ短調

(2) ヴァンハル:コントラバス協奏曲 ニ長調

(3) ディッターズドルフ:コントラバス協奏曲 ホ長調

■ ハープ

(1)を1曲及び(2)より1曲の計2曲を暗譜で演奏する。

(1) 5分程度の古典曲(C.P.E.バッハ作曲『ソナタ』の1楽章、ヘンデル作曲『協奏曲』の第1楽章、J.S.バッハ作品のルニエ編あるいはグランジャーニー編等)

(2)

- ① フォーレ:アンプロンプチュ 変ニ長調 作品 86
- ② サルツェード:古代様式の主題による変奏曲
- ③ ルニエ:レジェンド
- ④ ダマーズ:シチリア風変奏曲
- ⑤ ヒンデミット:ソナタ
- ⑥ グランジャーニー:ラブソディー

b) オーケストラプレイヤー・コース

専攻する楽器の以下の課題曲および、試験2週間前に郵送される指定のオーケストラ・スタディを演奏すること。

暗譜は任意とする。

■ ヴァイオリン

モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲第3番 K.216、第4番 K.218、第5番 K.219 のいずれか任意の第1楽章(カデンツァ無し)

■ ヴィオラ

F.A. ホフマイスター:ヴィオラ協奏曲 二長調

C. シュターミッツ:ヴィオラ協奏曲 二長調 作品1

上記のいずれか任意の第1楽章(カデンツァ無し)

■ チェロ

ハイドン:チェロ協奏曲第1番 八長調 Hob.VIIb-1 より 第1楽章(カデンツァ無し)

■ コントラバス

任意の自由曲

■ ハープ

任意の自由曲

c) コンサートマスター プリンシパル・コース

ソリスト・コースとオーケストラプレイヤー・コースそれぞれの課題曲から自分の演奏する楽器の課題曲を選択し、演奏すること。ただし、異なる曲を選ぶこと。(ヴァイオリンとチェロについてはソリスト・コースのA群、B群それぞれの課題曲とオーケストラプレイヤー・コースの課題曲を演奏すること。)

試験2週間前に郵送される指定のオーケストラスタディを演奏すること。暗譜は任意とする。

【管打楽器ソリスト・コース】

■ フルート

(A) (B)の2曲を暗譜で演奏する(曲目の演奏順は自由)。

(A) 次の課題曲(1)～(7)から1曲を選択して演奏する。

- (1) E. ボザ: Image
- (2) J. イベール: Pièce
- (3) P.O. フェルー: Trois Pieces-Ⅲ
- (4) S. カルク-エラート: 30 Studies op.107, No.30 Chaconne
- (5) S. カルク-エラート: Sonata (Appassionata) fis-moll op.140
- (6) N. パガニーニ: 24 Caprices op.1 より 24 番
- (7) J. リヴィエ: Oiseaux Tendres

(B) 上記(A)の作曲家以外の自由曲1曲(但し、ピアノ伴奏付きの曲)を演奏する。

■ オーボエ

次の課題曲と自由曲(無伴奏曲も可)の2曲を暗譜で演奏する。

モーツァルト: オーボエ協奏曲 ハ長調 K. 314

■ クラリネット

次の課題曲(1)、(2)のうち任意の1曲と自由曲(無伴奏曲も可)の2曲を暗譜で演奏する。

- (1) モーツァルト: クラリネット協奏曲 イ長調 K. 622
- (2) ドビュッシー: クラリネットのための第一狂詩曲

■ サクソフォーン

次の課題曲と自由曲(無伴奏曲も可)の2曲を暗譜で演奏する。

グラズノフ: サクソフォーン協奏曲

■ ファゴット

次の課題曲(1)、(2)のうち任意の1曲と自由曲(無伴奏曲も可)の2曲を暗譜で演奏する。

- (1) モーツァルト: ファゴット協奏曲 変ロ長調 K. 191
- (2) ウェーバー: ファゴット協奏曲 ヘ長調 作品 75

■ ホルン

次の課題曲(1)、(2)、(3)のうち任意の1曲と自由曲(無伴奏曲も可)の2曲を暗譜で演奏する。

- (1) モーツァルト: ホルン協奏曲第2番 変ホ長調 K. 417 第1楽章
- (2) R. シュトラウス: ホルン協奏曲第1番 変ホ長調 第1楽章
- (3) ノイリンク: バガテル

■ トランペット

次の課題曲と自由曲(無伴奏曲も可)の2曲を暗譜で演奏する。

J. ハイドン: トランペット協奏曲 変ホ長調

■ トロンボーン

次の課題曲と自由曲(無伴奏曲も可)の2曲を暗譜で演奏する。

テナー・トロンボーンの場合

トマジ:協奏曲 第1楽章

バス・トロンボーンの場合

ギリンガム:ソナタ 第1楽章

■ ユーフォニアム

次の課題曲と自由曲(無伴奏曲も可)の2曲を暗譜で演奏する。

J. ホロヴィッツ:協奏曲(Novello 版)

■ チューバ

次の課題曲と自由曲(無伴奏曲も可)の2曲を暗譜で演奏する。

R. ヴォーン・ウィリアムズ:チューバ協奏曲(Oxford University Press 版)

■ 打楽器

次の課題曲(1)、(2)のいずれかと自由曲(無伴奏曲も可)を暗譜で演奏する。

(1) ジョリヴェ:打楽器とオーケストラのための協奏曲 第4楽章

(2) 次の①②を両方演奏する。

① クレストン:マリンバとオーケストラのための協奏曲 第3楽章

② デルクルーズ:12のエチュード(小太鼓のための)

* ②は1~4の中から任意の1曲を演奏する

* ②に限り暗譜は任意とする。

【ジャズ インストゥルメンタル・コース】

課題曲において指示されている、別冊「ジャズ専修入学試験課題曲集」(2021年7月発行)を必ず使用すること。入手希望者は、KCMC(P.3参照)までご連絡ください。

1. 課題曲(全楽器共通)

“Satin Doll” by Duke Ellington 編曲:小曾根真

テーマ(32小節)を演奏後、そのコード進行に従い、即興演奏を2コーラス行う。

* 別冊「ジャズ専修 入学試験課題曲集」譜例 14~18 を必ず使用すること。

(オーディオセットによる伴奏が付く。イントロなし。楽譜を見てもよい。)

2. 自由曲

① ドラムス以外

無伴奏による2~3分程度の演奏を行う(暗譜)。

② ドラムス

即興演奏 J=120 8小節+8小節の16小節を仮定したドラムソロを2コーラス(32小節)行う。

(自らカウントを出し開始。リズムの種類は自由。演奏中にメトロノームは鳴らさない。)

動画の撮影・提出方法について

◎本動画の撮影・提出方法は、国立音楽大学音楽学部 2022 年度入学試験要項に準じ、2022 年度ディプロマ・コース募集用として掲載しています。

■動画提出までの流れ



※オンラインストレージサービス(例:ギガファイル便等)

1. 動画の撮影について

■撮影機材

特に規定しません。下記のファイル形式を満たしていれば、スマートフォンまたはタブレット端末等、あるいはビデオカメラ等の撮影、どのような機材でも構いません。

ただし、撮影機材は1台とします(複数の機材で撮影した動画を編集したものは不可)。

<動画データ形式(各種メディア収録の場合)>

標準状態の Windows Media Player もしくは QuickTime Player で再生可能な形式。

※再生確認時に何らかの支障が出た場合、再生画質を大きく下げない範囲で再エンコードさせていただくことがあります。

■解像度

特に規定はしませんが、720p～1080p 程度の画質を推奨します。また、受験者の顔が無理なく判別できる画質であることに留意してください。

※4K 等の高画質動画は送受信に多大な時間を要する場合がありますので、推奨いたしません。

■撮影場所

一般のレッスン室・スタジオのほか、環境が整っていれば自宅での撮影でも構いません。

ただし、演奏に大きく干渉するような外部の音が入らないよう、十分に留意してください。

※本学で撮影場所の提供は行いません。

■全コース共通:動画撮影にあたり、必ず順守していただきたいこと

※以下順守事項に沿って提出が行われなかった場合は、審査時に失格となりますのでご注意ください。

- ① 動画の冒頭で、本人確認のためカメラに対し正面から「受験番号」と「氏名」と「撮影日」を申告してください。お辞儀は不要です。また曲名等の申告も不要です。
- ② 受験者の「顔(横顔でも可)」「手(声楽は除く)」が見えていることを最低限の条件とします。楽器(ペダル等含む)、受験者の全身が入っていることが望ましいですが、前述の条件を満たしていれば、用意できる環境内で無理なく撮影できる範囲でかまいません。また共演の場合は、ピアノ伴奏者も映るよう配慮し撮影してください。
- ③ 複数の演奏内容・演奏曲がある場合、原則、曲目申請時の演奏順を通して撮影してください。音響効果を施す、曲中・曲間の編集・加工(曲間でカメラを一時停止することも含む)は禁止です。ただし、「第一曲目の第一音より前の空白」「最終曲の最終音より後の空白」のカットのみ認めます。
- ④ 音割れや音量のムラを少しでも減らすため、スマートフォンでの撮影やパソコン内蔵のマイクを使用する場合は、機材と受験者の距離を最低 1.5 メートル以上離して撮影してください。
- ⑤ 「暗譜」の指示がある演奏を、楽譜を見て演奏した場合は失格となります。暗譜していることが明確に分かるよう配慮し撮影してください。

※①～⑤に加えて、各コースで撮影方法が以下のとおり指定されていますので、必ず確認してください。

コース名	撮影方法の指定、注意事項
声楽ソリスト・コース	必ず受験生の正面からのアングルで全身と顔が見えるように撮影すること。 歌曲1曲と自由曲1曲の順で撮影すること。
ピアノ・ソロ/アンサンブルコース	必ず、「顔」と「手」が映るように撮影すること。
弦楽器コース	上半身または全身、指（腕）、顔が見えるように撮影すること。
管打楽器ソリスト・コース	受験者の正面方向からのアングルで顔と楽器が見えるように撮影すること。 課題曲、自由曲の順で撮影すること。 スワブを通したり水を抜いたりすることは適宜行って良い。
ジャズ インストゥルメンタル・コース	上半身または全身、指（腕）、顔が見えるように撮影すること。

※機材・環境の違いが審査に影響することはありません。あくまで演奏そのものを公平に審査しますので、ご自身が無理なく用意できる機材・環境で撮影してください。

2. 動画の提出について

■提出方法

提出方法は以下の(1)または(2)いずれかを選択し、(3)動画提出専用フォームに入力し提出してください。

(1) YouTube へのアップロードの場合

アップロード方法については P.16「YouTube への動画アップロード方法のご案内」もご参照ください。

ご自身(または保護者・指導者)の YouTube アカウントに「限定公開*」でアップロードし、アップロードした動画の URL**を(3)の動画提出専用フォームに入力して提出してください。

*限定公開:動画設定内の「プライバシー」を「限定公開」に設定することで、動画 URL を知っている人のみが閲覧可能な状態となります。(YouTube の検索結果にも表示されません。)なお、URL を SNS 等の公開環境で周知しないでください。

**YouTube にアップロードした動画の URL が、以下のいずれかの形式になっていることを確認してください。

➤ <https://www.youtube.com/watch?v=●●●●●●>

➤ <https://youtu.be/●●●●●●>

※ アップロードした動画について「動画タイトル」「説明」「サムネイル画像」等の設定を行う必要はありません。なお、動画タイトルに受験者氏名は入れないでください。(受験番号は可能)

(2) 各種メディアでの収録の場合

撮影した動画データはデータ形式で収録し、オンラインストレージサービスに動画をアップロードし、URL を取得してください。取得した URL**を(3)の動画提出専用フォームに入力して提出してください。
動画をファイル保存する際のタイトル名に受験者氏名は入れないでください。(受験番号は可能)

(3)【ディプロマ・コース動画提出専用フォームアドレス】

<https://business.form-mailer.jp/fms/f6d0f0ce128532>



※登録は、「各コースについて P.4～8」の動画審査方式を参照し、期日までに入力し提出してください。一度提出された動画の再提出は認めません。提出期日を過ぎた場合、受験資格は無効とし、出願料の返還もいたしません。

YouTube への動画アップロード方法のご案内

1. 事前準備


Google アカウントの作成

YouTube へのアップロードには、Google アカウント(Gmail アドレス @gmail.com)が必要です。
お持ちでない方は、Google のホームページ <https://www.google.co.jp/> からアカウントを作成してください。

YouTube へのログイン

- ① スマートフォン、タブレットを使用する場合は、YouTube アプリをダウンロードしてください。(無料)
パソコンから利用する場合は、お使いのブラウザから YouTube トップページを開いてください。
<https://www.youtube.com/>
- ② アプリまたはトップページを開き、右上の「ログイン」ボタンを押します。
案内に従い、Google アカウントでログインしてください。

2. 動画のアップロード

- ① ページ上部のビデオカメラのアイコンを  を押します。
写真、カメラ、マイクへのアクセス許可が求められる場合は「アクセスを許可」ボタンを押してください。
- ② YouTube にアップロードしたい動画を選択し、「次へ」を押します。

※15分を超える動画の場合

YouTube の初期設定では、アップロードできる動画の上限時間が 15 分となっています。
撮影した動画が 15 分を超える場合は、「アカウントの確認手続き」を行うことで 15 分以上の動画をアップロードできるようになります。

【パソコンの場合】

- (1)パソコンで <https://www.youtube.com/verify> にアクセスします。
- (2)手順に沿って、Google アカウントの確認手続きを行います。確認コードの受け取り方法は、モバイルデバイスのテキストメッセージまたは自動音声メッセージのいずれかを選択できます。

【スマートフォン、タブレットの場合】

- (1)15 分を超える動画を選択した際に、チャンネル未作成の場合、チャンネル作成画面が表示されます。
「チャンネルを作成」を選択してください。
- (2)「アカウントの確認」画面が出てきますので、手順に沿って Google アカウントの確認手続きを行います。電話番号による認証が必要です。

- ③ 動画情報を入力します。
「動画タイトル」「説明」「サムネイル画像」等の入力、設定は不要です。
なお、動画タイトルに受験者氏名は入れないでください。(受験番号は可能)
「プライバシー」(公開範囲の設定)の項目は必ず「限定公開」を選択してください。
選択が完了したら、「アップロード」ボタンを押して完了です。